

南城市糸数区「糸数」

集落
部門

史跡と水ときびの穂が織りなす憩いのふるさとづくり (平成22年度認定)



南城市玉城糸数区は、那覇市から約12kmの距離にあり、旧玉城村の中央高台を東西に走る珊瑚石灰岩地帯の西の端に位置し、区内各地から遠景を眺望できる見晴らしの良い地域である。当地区には、平和学習として県内外からの修学旅行生徒が年間約12万人訪れる、戦跡「糸数アブチラガマ」や国の重要文化財(史跡)に指定された「糸数城跡」もあり、学習の場・観光の場として県内外から多数の人が訪れている。そのため、区内の地域資源を良好に保全し県内外へPRすると共に、子供たちと拝所や史跡の散策をしながら集落の歴史を学び、その継承を図っている。

また糸数区では、昔から世代を超えた区民活動が盛んであり、年2回の村仕事を始め、毎月の集落内美化作業など、区民総出で交流を図っている。

特に、毎年旧暦8月15日の十五夜は、敬老の長寿と赤ちゃん誕生を区民と糸数郷友会で盛大に祝っており、祝いの場で行われる余興、「掃除サーブー」は平成21年に国立組踊劇場で行われた、第12回民俗芸能公演「国立劇場豊年祭」で上演されるなど、糸数区の伝統芸能として継承され、【史跡と水ときびの穂が織りなす憩いのふるさとづくり】に取り組んでいる。

